

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	小湊
全体計画						経費区分	-			内線	3645
事務事業名	12178 親子通園事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02020900 子育て環境の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030208 民生費・児童福祉費・親子通園施設費									
	事業	020000 親子通園事業									
事業目的						事業概要・効果					
心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童が、保護者とともに通園し、機能訓練及び生活指導を通して生活に必要な力を向上させる。また、その保護者に対して相談に応じる等の支援を行い、総合的に児童の育成支援を図る。						心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行い育成を促すことができた。					

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
利用延人数 475人	
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		4,805	5,104
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,805	5,104
人員数(人)	正規職員	2.2	0.3
	嘱託職員	0.0	0.9
	臨時職員	0.0	0.9
人員コスト	正規職員	15,857.6	2,162.4
	嘱託職員	0.0	2,434.5
	臨時職員	0.0	927.0
	計	15,857.6	5,523.9
市民一人当たりの経費		0.4	0.2
総額		20,662.6	10,627.9

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	120	音楽療法士謝礼
11節 需用費	139	くれよん教室教材用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,546	電話料、保険料等

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	130	音楽療法士謝礼
11節 需用費	118	くれよん教室教材用消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	4,856	郵便料、電話料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	身体や知的障害がある児童や発達に支援を必要とする児童や保護者に対する総合的な育成支援を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	身体や知的障害がある児童や発達に支援を必要とする児童にとって大変有効である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最低限の経費で管理運営されている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

身体・知的障害がある児童、発達に支援を必要とする児童への機能訓練及び生活指導をおこない、これら児童の育成支援ができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
心身に障がいのある児童や発達に支援を必要とする児童の保育、機能訓練及び生活指導を行いながら育成を促すことができた		発達上、支援を必要とする乳幼児に対し、個別指導やその児に沿った発達支援を実施する必要がある、今後も関係課と連携した支援が必要とされる。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	